

科目ナンバリング	HN3-1058R	単位	1	必須・選択	必修
講義名称	フィジカルアセスメント論				
講義名称(英)					
対象学科	保健看護学科			配当学年	看護1年
開講学期	後期		授業形態	演習	
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 1時限 大) 実習室A(基礎・成人)／後期 金曜日 1時限 大) 講義室1／後期 金曜日 2時限 大) 実習室A(基礎・成人)／後期 金曜日 2時限 大) 講義室1		担当教員	泉澤 真紀／谷川 千佳子／並川 聖子／片川 俊太郎	

授業の概要

フィジカルアセスメントは、健康問題を持つ対象者の異常を発見して適切な治療や予防、対処に結びつけるため、身体に関する情報を収集する系統的な身体診査（フィジカルイグザミネーション）を学ぶ。本科目は、後に続く看護過程論、基礎看護学実習の基盤となる科目である。そして領域横断科目の看護ヘルスアセスメント論につなげていく。

到達目標

1. フィジカルアセスメントの目的・意義が理解できる。
2. フィジカルイグザミネーションの5技法が理解できる。
3. バイタルサインの意義を理解し、その実施方法がわかる。
4. 身体を系統的にアセスメントする視点が理解できる。

ディプロマ・ポリシーとの関連

学科	DP1	DP2	DP3	DP4
経済学部経営経済学科	－	－	－	－
保健福祉学部コミュニティ福祉学科	－	－	－	－
保健福祉学部保健看護学科	○	◎		

授業の形態及び方法

講義及び演習を実施します。また、適宜小テストで復習をしていきます。技術試験を実施する場合があります。

評価方法・基準

定期試験70% 小テスト10%、技術試験10%、課題提出や学習態度等10%とし、6割以上を合格とする。

授業計画			
回数	授業内容	事前学習	事後学習
第1回	フィジカルアセスメントとは（泉澤） 看護におけるフィジカルアセスメント意義 問診の基本、フィジカルアセスメントの5技法	教科書 p 128-149を読んでおく	授業資料のまとめ
第2回	バイタルサイン①（片川） 呼吸・循環・体温及び意味と観察	教科書154-165を読んでおく	授業資料のまとめ
第3回	バイタルサイン②（片川） 血圧と循環動態の意味と観察（演習も含む）	教科書 p 165-173を読んでおく	授業資料のまとめ 実習室で血圧の練習を
第4回	バイタルサイン③（片川） 演習：バイタルサインの測定 ※2コマで実施予定（1 コマどちらかに出席、後日指示します）	事前課題の配布がある	実習室でVSの練習をする
第5回	第1～4回目までの小テスト①皮膚・爪・髪のアセスメント頸部・リンパ（乳房を 含む）のアセスメント鼻・耳・眼・口のアセスメント（泉澤）	事前課題の配布がある	授業資料のまとめ 実習室でVSの練習をす
第6回	VS技術試験（泉澤・片川・並川・谷川、他） 2コマで実施（1コマどちらかに出席、後日指示します）	事前にVSの練習をして おく	演習の振り返りシート を記述する
第7回	心臓・肺（呼吸器系）のアセスメント①（谷川）	事前課題の配布がある	授業資料のまとめ
第8回	心臓・肺（呼吸器系）のアセスメント②（谷川）	事前課題の配布がある	授業資料のまとめ 演習に向けて資料に目
第9回	演習：肺（呼吸器系）のアセスメント（谷川・泉澤・並川・片川、他）	事前課題の配布がある	演習の振り返りシート
第10回	演習：心臓のアセスメント（谷川・泉澤・並川・片川、他）	事前課題の配布がある	授業資料のまとめ 演習の振り返りシート
第11回	第5～10回の小テスト②腹部（消化器系）のアセスメント（並川）	事前課題の配布がある	授業資料のまとめ 演習に向けて資料に目
第12回	演習・腹部（消化器）のアセスメント（並川・泉澤・谷川・片川、他）	事前課題の配布がある	演習の振り返りシート
第13回	筋・骨格系のアセスメント（泉澤）	事前課題の配布がある	授業資料のまとめ
第14回	脳・神経系のアセスメント（泉澤）	事前課題配布がある	授業資料のまとめ 演習に向けて授業資料
第15回	第11～14回の小テスト③演習：骨・筋・脳神経のアセスメント（泉澤・並川・谷川 ・片川、他）	事前課題の配布がある	演習振り返りシート
第16回			
第17回			
第18回			
第19回			
第20回			
第21回			
第22回			
第23回			
第24回			
第25回			
第26回			
第27回			
第28回			
第29回			
第30回			

教科書				
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
『系統別看護学講座 基専門分野 基礎看護技術Ⅰ』	茂野 香おる	医学書院	2024	978-4-260-04211-6
『看護がみえる③フィジカルアセスメント』	熊谷たまき、水戸裕子他編集	メディック・メディア	2024	978-4-89632-781-6

教科書(自由記述)

参考書				
書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN
『系統看護学講座準拠解剖生理ワークブック』	坂井建雄、岡田隆夫、宇賀貴紀編	医学書院	2023	978-4-260-04688-6
『ステップアップ解剖生理学ノート』	増田敦子監修	サイオ出版	2016	978-4-907176-03-7
『はじめてのフィジカルアセスメント（第2版）』	横山美樹	メチカルフレンド社	2019	978-4-8392-1648-1

参考書(自由記述)

その他
人体の構造・機能、病態学の知識を使います。講義に関わる部分は自己学習しておいてください。主体的に取り組むために講義前後の予習、復習を必ず実施してください。科目責任者は、泉澤真紀です。

実務経験
実務経験あり 担当教員全員は病院での看護師としての実務経験がある。